

予防接種で感染症を防ぎましょう!!



お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力(免疫)は、時間の経過とともに自然に失われていくため、自分自身で免疫を作って病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

問合せ先 市役所健康推進課 (☎31-4524)、阿寒町行政センター保健福祉課 (☎66-2120)、音別町行政センター保健福祉課 (☎01547-9-5252)

予防接種を受けましょう

ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス、四種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ)、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、二種混合第2期、子宮頸がんの予防接種は、医療機関で年間を通して実施しています。詳細については、市ホームページでご確認いただくか、お問い合わせください。

二種混合第2期(学童二種混合)予防接種はお済みですか?

二種混合第2期(ジフテリア、破傷風)予防接種は、乳幼児期に受けた四(三)種混合予防接種の免疫効果を高めるため、11~12歳の間に1回接種します。対象のお子さんには、学校を通じてご案内しています。まだ接種がお済みでない方は、医療機関で接種しましょう。13歳の誕生日の前日までは無料(公費負担)で接種できます。

追加接種はお済みですか?

四種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌の予防接種は、初回の接種終了後、一定の期間を空けて追加接種が必要です。追加接種までの期間はワクチンの種類によって異なりますが、それぞれのワクチンには病気の予防のため、受けるのが望ましいとされる「標準接種年齢」(下表参照)があります。期間が空いてしまうことから、つい忘れてしまいがちな追加接種ですが、ぜひ、適切な期間内に追加接種を受けましょう。

●各ワクチンの標準接種期間

種類	対象年齢 (無料で接種が受けられる年齢)	標準接種年齢 (病気の予防のため、受けるのが望ましい年齢)	回数
ヒブ(Hib)	[初回]生後2カ月~5歳未満	初回接種の開始が生後2~7カ月未満	4~8週間の間隔を置いて3回(3回目は生後12カ月未満に終了させる) ※接種開始年齢により回数は異なります。
	[追加]生後2カ月~5歳未満	初回接種(3回)終了後、7~13カ月の間	1回
小児用肺炎球菌	[初回]生後2カ月~5歳未満	初回接種の開始が生後2~7カ月未満	27日以上の間隔を置いて3回(3回目は生後24カ月未満に終了させる) ※接種開始年齢により回数は異なります。
	[追加]生後2カ月~5歳未満	初回接種(3回)終了後、60日以上の間隔を置いた後、生後12カ月以降	生後12~15カ月の間に1回
B型肝炎	生後1歳未満	初回接種の開始が生後2カ月	3回 (2回目は1回目接種から27日以上、3回目は1回目接種から139日以上間隔を置いて接種)
ロタウイルス (ロタリックス)	出生6週0日後~24週0日後	初回接種の開始が生後2カ月~出生14週6日後	27日以上の間隔を置いて2回
ロタウイルス (ロタテック)	出生6週0日後~32週0日後		27日以上の間隔を置いて3回
四種混合 (百日せき、ジフテリア、破傷風、ポリオ)	[第1期初回]生後3カ月~7歳6カ月未満	生後3~12カ月	20~56日(3~8週間)までの間隔を置いて3回
	[第1期追加]生後3カ月~7歳6カ月未満 1期初回接種(3回)終了後、6カ月以上の間隔を置いて接種	1期初回接種(3回)終了後、12~18カ月の間	1回
BCG	生後1歳未満	生後5~8カ月未満	1回
麻しん(はしか) 風しん(三日ばしか) 混合	[第1期]生後12~24カ月未満	【22(令和4)年度対象者】 平成28年4月2日~平成29年4月1日生まれ	[第1期]1回
	[第2期]5歳以上7歳未満であって、小学校就学前1年間(入学する年の3月31日まで)		[第2期]1回
水痘(水ぼうそう)	生後12~36カ月未満	1回目 生後12~15カ月 2回目 1回目終了後、6~12カ月の間隔を置いた後	2回
日本脳炎	[第1期初回]生後6カ月~7歳6カ月未満	3~4歳	6~28日(1~4週間)までの間隔を置いて2回
	[第1期追加]生後6カ月~7歳6カ月未満	初回接種終了後、おおむね1年経過した後	1回
	[第2期]9~13歳未満	9歳	1回
二種混合第2期 (ジフテリア、破傷風)	11~13歳未満	11歳	1回
子宮頸がん予防ワクチン	小学校6年生~高校1年生相当年齢の女子	【22(令和4)年度対象者】 平成18年4月2日~平成23年4月1日生まれ	3回 ※接種間隔はワクチンにより異なります。

ワクチン接種は生後2カ月から

- 生まれたばかりの赤ちゃんは感染症に対する免疫が未発達のため、感染症にかかると重症化しやすく入院が必要になったり、場合によっては命に関わったりすることもあります。そうならないために、予防できる病気はきちんとワクチン接種をしましょう。
- ヒブワクチンや、小児用肺炎球菌ワクチン、B型肝炎ワクチン、ロタウイルスワクチンは生後2カ月になったら接種しましょう。
- また、乳児期には多くの予防接種をしなければなりません。一度に複数のワクチンを接種する同時接種という方法もあります。
- 予防接種の進め方や、同時接種については各医療機関にお問い合わせください。

日本脳炎の予防接種を受けましょう

- 16(平成28)年4月から、日本脳炎の予防接種が定期接種化され、無料で接種できるようになりました。対象となるおさんは下記の通りです。
- 対象①平成21年10月2日以降に生まれた方▶生後6カ月~7歳6カ月未満期間内に計3回接種、9~13歳未満の期間内に1回接種
- 対象②平成19年4月2日~平成21年10月1日に生まれた方▶9~13歳未満期間内に計4回接種
- 対象③平成19年4月1日以前に生まれた方▶20歳未満の期間内に計4回接種
- ※接種間隔は、下記の表でご確認ください。対象年齢を過ぎると有料となりますので、対象年齢の間に日本脳炎予防接種を受けましょう。